

保険の見直し、というところ
生命保険の見直しを思い浮かべる方がほとんどだろう。

しかし自分自身の生活を考えた場合、生命保険と損害保険の両方を視野に、トータルで自分に必要な保障を選んでいく、というのが

CFネット流 嫁実践

最も効率的な保険の掛け方があるといえる。

ひとりで保障(あるいは補償)の選択といってもやはりその大前提としてはライフプランの構築が欠かせない。先日も当社主催のセミナーでお話しさせていただいたが、今後の社会状

『保険の見直し、どう進めるか』

37

況を考えると、自分や家族のケースは少ないであろう。そうすると過度な死亡のライフプランというものは、もはや国任せ、会社任せでは乗り切れないと考えた方がいい。

自分にとって必要なものを選び取り、不要なものは除くといった、取捨選択の姿勢がよりいっそう必要とされる時代に入ったといえる。

人生の分岐点ごとに内容確認 生保と損保トータルで過不足なく

るだろう。

では、ライフプラン上で有効な保険といえれば、どのようなものが当てはまるのだろうか。具体的にはそれぞれの人生のフェーズによって、必要とされる保障(補償)は違う。

例えば、独身時代であれば、自分が亡くなるまで経済的に困る家族がいる、とい

る。

すでに保険に加入している人の例でいえば、住宅を購入した際に加入する団体信用生命保険があれば、自分が亡くなった場合の住居費部分の保障は不要ということになる。また、住宅の

一方、結婚して子どもが生まれ、末子が独立したあ

とは、自分や伴侶の老後に

向けた生活保障を介護や医療の保障と併せて考えてい

い、いわゆる就業不労の状態になった場合に備えて、

所得補償を選択しておくこと

い。もちろん、見直しによ

って生まれた「余裕」をイン

ンブルに貯蓄にまわすのも

選択肢の1つだろう。

それぞれの人生の分岐点の際に保険の内容の見直しを行い、多すぎる保障があればそれを除き、不足している部分の補充に充てること



紺野晴美(CFネット損害保険担当・ファイナンシャルプランナー)